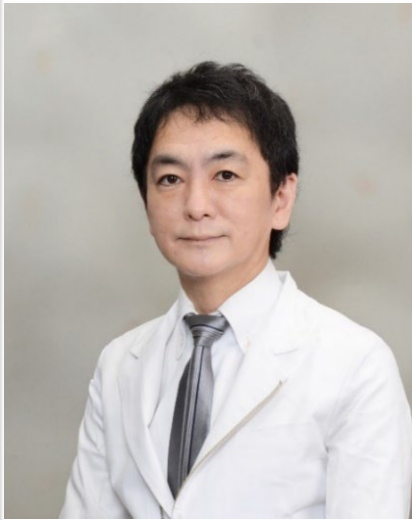


第64回大阪小児先進医療研究会セミナー

「X連鎖性低リン血症性くる病・腫瘍性骨軟化症・自己免疫性骨軟化症」



伊東伸朗 Nobuaki ITO

所属・職名

東京大学大学院医学系研究科

難治性骨疾患治療開発講座・特任准教授

東京大学医学部附属病院

骨粗鬆症センター・副センター長

伊東伸朗先生はFGF23関連疾患の臨床・基礎研究の第一人者です。2025年には新しい疾患概念である自己免疫性骨軟化症を発見しN Engl J Medに発表されました。奮ってご参加ください!!

【講演内容】

当研究室（東大病院腎臓・内分泌内科 骨ミネラル代謝研究室）では、2001年に福本誠二が腫瘍性骨軟化症の原因腫瘍からFGF23を生理的なリン調整因子として同定して以降、FGF23の生理的機能また病理学的役割について詳しく検討してきた。本講演では近年の当研究室での研究成果である「X連鎖性低リン血症性くる病では副甲状腺機能亢進症が起こりやすい理由」、「腫瘍性骨軟化症ドライババリエーションの探索」、「自己免疫性骨軟化症の発見」について概説する。

2025年

10月17日 金

18:00～19:00

大阪大学医学部 講義棟 2階 C講堂

《お問い合わせ》 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学 担当: 宮村能子(miyamu@ped.med.osaka-u.ac.jp)
大阪小児先進医療研究会事務局 事務局: 三井明香(s.mitsui@ped.med.osaka-u.ac.jp)

【主催】大阪小児先進医療研究会